

令和6年第3回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和6年3月12日（火）午前10時00分				
開 会 場 所		幸手市立さくら小学校 2階 ランチルーム				
開会の日時・宣告者		令和6年3月12日（火）午前10時00分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和6年3月12日（火）午後0時04分			山 西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出 席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	欠 席
傍聴人：0人				書 記：関 口 智 章・河 口 奈 緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	小 林 秀 樹				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	学校教育課長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	仙 田 茂 雄				
	さくら小学校長	岸 千 里				

会 議 事 件 名	顛 末
開 会 午前 10 時 00 分 日程第 1 幸手市立さくら小学校の運営状況等について	教育長 開会を宣する。 さくら小学校長 さくら小学校の運営状況等について、資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 子どもたちが学校に馴染めるように、いかに心を掴むか苦労していることと思う。大規模校としてのプレッシャーもあるだろうが、地域と連携し、先生が一所懸命に取り組む姿は、素晴らしい学校経営のたまものである。 下校時にあいさつをしてくれる児童も多く、知・徳・体のバランスの取れた良い学校であると感じている。 岸校長 声かけから会話に繋がるため、あいさつを大切にしている。学校運営協議会や PTA でも人間関係の希薄化が進む中、教職員の連携も大事にしている。 岩崎委員 学校運営委員会の写真を見るに、多くの大人に見守られ、子どもたちも安心できると感じる。 高島委員 授業の研修の様子を見ても、一所懸命やっていると感ずる。中学校は能力の二極化が進み、平均的な授業は困難になる。みんなが楽しめる授業、ハラハラドキドキできるような授業が結果的に学力を高める。学力の高い子もワクワクできるような授業が学力向上につながる。教員の質も問題もあるが、子どもたちと一緒に進んでいってほしい。 岸校長 子どもたちがワクワクする、好奇心をくすぐるような授業を目指し、教員の研修も行っている。働き方改革と言われているが、教員もやってみたいと思えるよう取り組んでいく。

日程第 4 行政報告 1 教育長報告	のか。次に、家庭教育学級の推進とはどういうものか。 学校教育課長 今年度の書き初め展で、幸手中学校の 1 年生がさいたま市長賞を受賞した。これまでも特に個別の項目としては入っていないが、学校や各家庭で取り組んでもらっていると認識している。 社会教育課長 家庭教育学級は、学校で取り組んでいることの拡充も含めてというもの。今年度は 6 団体の実績があるが、全校で取り組んでいるというものではないので、取り組んでいない学校でできることはないか、自然体験や講演会、研修会のような形で何か取り組んでいければと考えている。 高島委員 読解力の向上が非常に大切である。文章を読んで理解できないと、問題にアプローチできない。教育委員会でいろいろと教材を用意しても、学校が使い方を理解しなければ意味がない。例えば民間で評価の高い学習塾のノウハウを取り入れるなどしてほしい。そして理解が難しい子には何度でも繰り返し指導することが大切である。 教育長 子どもたちにきちんと届くよう、ツールの使い方を学ぶことや、国語だけ、数学だけという枠にとらわれず、横断的に学習するということかと思う。 高島委員 長文を読む機会が減っているので、新聞などを活用し、読解力を高める取り組みを進めてほしい。 会田職務代理者 SDGs のアイコンが表示され、写真が適切に挿入されるなど、上手にまとまっていると思う。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。 教育長 1 各種教育長会議等
-----------------------------------	--

2 事務局からの 主要な報告	2 令和6年第1回幸手市議会定例会 3 各種研修会等 教育部長 令和6年第1回幸手市議会定例会一般質問（教育委員会部分） について資料により説明する。 総務課長 1 学校再編に関する説明会について 学校教育課長 1 令和5年度学校評価について 2 令和5年度体罰調査について 3 令和5年度新体力テストの結果について 4 3月中旬から4月初旬の行事予定 社会教育課長 1 幸手市青少年問題協議会 2 幸手市立図書館協議会 3 ランチタイムコンサート 4 第31回幸手市さくらマラソン大会 社会教育課長（公民館） 1 利用状況 2 事業報告 3 今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業 について資料により説明する。
----------------------------------	---

	《質疑》 藤沼委員 26 ページのリーディングD X事業について、効果が出ているようで素晴らしい。是非進めてもらいたい、子どもたちには今後、スマートフォンやSNSの使い方によっては個人情報の抜き取りなど危険なエリアがあることも理解させてほしい。 学校教育課長 I C T教育専門員の大西先生に指導していただいている。危ないからと規制するだけではなく、そうならないよう上手な使い方を指導していく。 教育長 写真1枚でも居場所が特定されるような危険があることをしっかり認識させる必要がある。 岩崎委員 38 ページの体罰調査について。自分の身を守るためのワークショップのような取組みが求められていると感じる。 学校教育課長 提案いただいたことは、子どもたちだけでなく学校にも示したうえで、学校としても取組みも進めていく。 岩崎委員 36 ページの学校再編に関する説明会について。大人たちには、子どもたちのための学校再編であることを理解してもらうよう努めてほしい。 総務課長 これまでも、子どもたちのためにという思いで進めている。そのためには学校や教育関係者に理解していただくことも必要であると考えている。特に年齢が高い層で、学校がなくなることへの不安がある様子。今後、条例改正をする予定であり、議員の理解も不可欠であると考えている。 高島委員 学校評価の関係で、全体的に高い得点で素晴らしいと感じる。しかし、「学習・わかる授業」では90%となっていて、児童生徒も高い評価になっている一方で、「学習・話の仕方、聞き方の指導」では少し下がってしまう。教員としてやることとして、特に中学校の場合は教科担任制
--	---

	でもあるので、各教科の先生が自分の教科について自分の授業の評価をしっかりとしていく必要がある。これは、アクティブラーニングが行われていないからパーセンテージが低く、自分から進んで意見を言うことが少ないということについてはきちんと課題を克服していく必要がある。 また、家庭学習が非常に低いということについては、家庭の経済状況などもあるが、中学校では3割以上が取り組んでいない。それを真摯に受け止めて、具体的にどのようにやっていくか、先生がしっかり気にしていってほしい。 もう一つ、体罰調査の集計で0だったのは安心したが、Web集計だったとのことで、近隣の自治体ではどうなのか。以前は手書きだった。Web集計と紙とではどっちが本当のことを回答しているのか、こちら側がしっかり受け止めておかないといけない。Web集計だと、アカウントで自分の回答が分かってしまうかも知れないと、本当に声がくみ取れているかどうかということは十分注意しなければならないということをお願いしたい。 学校教育課長 学校評価については、課題を克服できるよう学校にお願いし、様子を見ていく。Web集計については、近隣は不明だが、幸手市は他の調査もWebで実施しており、今回もWebとした。学校評価は学校ごとに集計しているが、体罰調査は教育委員会への回答であり、紙での調査より声が出てきたのではないかとと思っている。 会田職務代理者 一般質問では多くの議員が教育に関心を持っていると感じた。どういう意図で質問しているのか、教育委員会では把握しているのか。また、学校へ周知しているのか。教員が減っているということは非常に大きな問題であるが、これは教育委員会、学校、先生の責任もあると思っている。学力向上や、明日の授業をどうするかということに向き合いながら、子どもの家庭状況や、スマートフォンの使い方など、常に心配していたら、教員になりたいという人がいなくなってしまうのではないかと。 学校もやっていかなければならないと思うが、学校だけでなく社会が見ていかないといけない。保護者が何も
--	---

日程第 5 その他 1 次回以降の会議 日程 2 次回の協議事項 3 その他 閉 会 午後 0 時 04 分	指導せず学校に任せてしまうと学校運営は成り立たない。 また、学校再編の話はいきなり出たわけではない。子どもたちの学習状況を考えたとき、複式学級になったら、県費負担教職員が配置されない場合を市費負担で雇えるのか、そういう色々な問題があつて、適正規模について話し合う機会を持った方がいいのではないかといつて話が進んできた。 子どもたちのことを考えるのと、地域のコミュニティや防災拠点というのは別の話であるが、地域の人にとって見れば例えば吉田地区には高い建物がないので、防災拠点として必要と考える人は多いのではないか。そこで、市長部局として学校の跡地を防災拠点として残すということをはっきりと示した方がいいと思っている。 各委員の意見を調整した結果、4月の会議については、次のとおり決定する。 令和 6 年第 4 回教育委員会定例会 日時 令和 6 年 4 月 16 日（火） 午前 9 時 30 分 会場 幸手市役所第二庁舎 2 階 第 2 会議室 総務課長 協議の結果、次回は割愛とする。 なし 教育長 閉会を宣す。
---	---

ほ か 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和6年4月16日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 会 田 研 司